

令和8年度

消防学校教育訓練計画

石川県消防学校

校 訓

使 命 の 自 覚

規 律 の 保 持

心 身 の 鍛 練

知 識 技 能 の 修 得

団 結 の 強 化

目 次

第1	令和8年度教育訓練の方針	1
第2	令和8年度教育訓練の実施要領	1
第3	令和8年度教育訓練の内容	2
第4	令和8年度消防学校教育訓練の実施期間	4
第5	令和8年度消防学校教育者数・受付期間等	5
第6	令和8年度消防学校教育訓練入校期間中の必要経費	6
第7	入校手続等	8
	別記様式第1号(入校願書)	9
	別記様式第3号(推薦書)	9
	別記様式第2号(履歴書)	10
	様式4(研究討議資料)	12
	様式5(食品アレルギー食品チェック表)	13
第8	携行品及び事前提出物	14
第9	令和8年度消防学校教育訓練科目及び時間数	15
1	消防職員に対する教育訓練	15
(1)	初任教育	15
(2)	専科教育	16
ア	特殊災害科	16
イ	危険物科	17
ウ	救助科	17
エ	救急科	18
(3)	幹部教育 中級幹部科	19
(4)	特別教育	20
ア	無線通信科	20
イ	救急救命士生涯教育講習	20
ウ	兼任救急隊員教育講習	21
エ	通信指令員技術向上講習	21
オ	ヘリコプター搭乗職員講習	21
カ	消防大学校ゼミ	21
キ	災害事例等講習	21
2	消防団員に対する教育訓練	22
(1)	専科教育 警防科	22
(2)	幹部教育	22
ア	初級幹部科	22
イ	指揮幹部科現場指揮課程	23
(3)	特別教育	23
ア	ドローン操作訓練	23
イ	女性消防団員専門知識向上セミナー	23
3	一般県民に対する教育訓練	23
(参考)		
1	令和7年度消防学校教育訓練実績	24
2	消防学校の施設等の概況	25

令和8年度 消防学校教育訓練計画

第1 令和8年度教育訓練の方針

近年、消防を取り巻く社会環境は大きく変化しており、警防・予防業務の多様化・複雑化、救急業務の増大・高度化、大規模な災害への迅速な対応など、消防の果たす役割は益々拡大している。

近年の集中豪雨や台風、地震等の自然災害は、過去に経験したことのないような激甚化・頻発化・大規模化の傾向にあり、令和6年能登半島地震及び同年9月の奥能登豪雨、さらに昨年8月の線状降水帯による大雨など、未曾有の大災害が発生し、多くの人的・物的被害が発生している。

このように、いつ発生するか分からない災害や事故に対し、地域住民の防災や安全に対する関心がより一層高まっており、地域住民の生命・財産を守る消防の果たす役割は一層増大している。

令和8年度の消防学校の教育訓練は、こうした社会情勢の変化、地域住民の消防に対する期待と信頼感の高まりに応えるため、消防職員及び消防団員のより一層の資質向上を図ることを目標に、次のことを基本方針として行う。

- 1 消防の理念と責務を正しく認識させる。
- 2 消防活動に必要な規律、節度を習得させる。
- 3 人格を磨き強靱な体力と気力の錬成を図り、積極果敢な行動力を育成する。
- 4 社会の変化に即応できる高度な知識、技術を修得させる。
- 5 消防精神の涵養を図り、誇りと使命感を醸成するとともに、チームワークの重要性を自覚し、コミュニケーションを図れる消防人を育成する。
- 6 令和6年能登半島地震の貴重な教訓を活かした実情に即した訓練とする。
- 7 学生のスキル向上を図るため、受講しやすい環境づくりやサポート体制の強化を進めていく。

第2 令和8年度教育訓練の実施要領

- 1 実施する教育訓練の種類、対象者及び教育期間は、「第3 令和8年度教育訓練の内容」及び「第4 令和8年度消防学校教育訓練の実施期間」のとおりとする。
- 2 各課程の教育期間、教育人数及び入校願書受付期間等は、「第5 令和8年度消防学校教育人数・受付期間等」のとおりとする。
- 3 入校期間中の必要経費は、「第6 令和8年度消防学校教育訓練入校期間中の必要経費」のとおりとする。
- 4 各課程の教科目等については、「第9 令和8年度消防学校教育訓練科目及び時間数」のとおりとする。
- 5 消防職員の初任教育、専科教育及び幹部教育は、原則として全寮制で実施する。

第3 令和8年度教育訓練の内容

教育訓練種類		対象者	到達目標	教育時間
初任教育	初任教育	新規採用者及び未教育者	<ol style="list-style-type: none"> 1 服務義務を理解し、職務意欲が旺盛で、住民の信頼を得られること。 2 警防隊員として、基本的な安全管理について理解し、自らの安全を確保し、災害現場では隊長の下命に基づき基本的な活動ができること。 3 消防業務全般について概要を理解していること。 4 住民からの一般的な質問に回答できること。 	803
	消防	特殊災害関係業務の担当者及び担当予定者	<ol style="list-style-type: none"> 1 安全、適切かつ効果的な消防活動に必要な特殊物資に関する専門的知識を豊富に有していること。 2 特殊かつ異様な災害への対応を含め、災害の態様に応じた的確な消防活動要領を理解していること。 3 災害現場において、隊員の安全管理を優先して、適切かつ効果的な消防戦術を指揮できること。 	49
専科教育	危険物科	予防査察関係業務の担当者及び担当予定者	<ol style="list-style-type: none"> 1 予防査察行政の現状及び課題を理解し、与えられた権限を正しく執行できること。 2 防火管理、建築規制、危険物規制及び消防用設備等に係る専門的知識を豊富に有しており、査察要領を修得していること。 	70
	救助科	救助隊員予定者	<ol style="list-style-type: none"> 1 厳しい条件下において、救助活動を遂行し得る旺盛な士気及び強健な身体を有していること。 2 救助活動に係る最新の専門的知識を豊富に有しており、専門的で高度な技能及び技術を備え、これらを活用した応用力を十分に発揮できること。 3 救助活動及び救助訓練において、自らの安全を確保できること。 	140
	救急科	救急隊員予定者	<ol style="list-style-type: none"> 1 救急業務及び救急医学に関する基本的な知識を有していること。 2 応急処置に必要な解剖生理及び各科の疾病状況に関する専門的知識を有しており、応急処置における的確な観察及び判断能力を備えていること。 3 応急処置に必要な専門的技術を十分に発揮できること。 4 救急用器具及び材料の取扱いに関して精通していること。 	259
幹部教育	中級幹部科	消防司令及び組織（人事及び業務）の管理を職務とする消防司令補	<ol style="list-style-type: none"> 1 中級幹部としての責任及び立場を正しく認識していること。 2 中級幹部として消防及び社会全般の動向を理解していること。 3 迅速かつ的確な意思の決定に基づき、上司を補佐し、部下を指揮監督することにより、組織を管理できること。 4 事故及び障害の発生時に、迅速かつ的確な初動対応ができること。 5 災害現場において、現場指揮者として、災害状況全般の把握、的確な安全管理及び下命を行えること。 	49

注：初任教育の803時間には、各消防本部（局）が行う実務研修（35時間）を含む。

教育訓練種類		対象者	到達目標	教育時間
消防職員	無線通信科	無線業務担当予定者	第二級陸上特殊無線技士の資格を取得すること。	1 2
	救急救命士生涯教育講習	救急救命士	救急救命処置に係る気管挿管、薬剤投与等に関する医学的知識、技術を再確認すること。	3 5
	兼任救急隊員教育講習	兼任救急隊員	救急救命士が行う応急処置に関し、救急隊員としての補助業務に必要な知識と技術を修得すること。	2 1
	通信指令員技術向上講習	通信指令業務従事者で実務経験1年未満の職員	救急業務における通信指令に必要な知識と技術を修得すること。	1 4
	ヘリコプター搭乗職員講習	消防防災ヘリコプター隊員予定者	消防防災ヘリコプターの隊員として活動するための知識及び技術を修得すること。	9 5
消防職員	消防大学校ゼミ	消防職員	消防大学校で教授している最新の知識及び技術を修得すること。	5
	災害事例等講習	消防職員	県内をはじめ全国で発生した最近の大規模災害等に対処する知識等を修得すること。	4
専科教育	警防科	消防団員として、概ね3年以上の経験を有する者	1 火災防ぎよ活動に関する専門的知識及び行動原則並びに各種災害事象における消防団の役割及び活動内容を理解していること。 2 災害現場において、中核的な活動を遂行できること。	1 4
消防団員	初級幹部科	班長の階級にある者	1 消防団初級幹部としての職責を自覚し、消防団の運営に必要な規律、災害活動要領及び安全管理を深く理解していること。 2 地域住民に対して防災指導を行えること。	1 4
	指揮幹部科現場指揮課程	部長又は部長と同等の実務経験を有する班長	1 災害時における現場指揮者としての職責を自覚し、現場指揮及び安全管理の知識及び技術を有していること。 2 大規模災害時において、現場指揮者として、火災防ぎよ、水災活動、救助救命、避難誘導及び情報収集・伝達に係る的確な現場指揮及び安全管理の知識及び技術を有すること並びに自主防災組織等に対して防災指導を行えること。	1 4
	女性消防団員専門知識向上セミナー	女性消防団員	最近の火災予防などの専門的知識及び救急救命などの技能を修得すること。	5
特別教育	ドローン操作訓練	消防団長が推薦する者	1 ドローンの操縦技能の向上 2 デジタル技術を活用し、ドローンから映像を共有した捜索活動等のノウハウの習得	1 2
一般	国民教育等	女性県政学習バス、子ども消防学校、自主防災組織等	消防・防災に関する基礎的知識を修得すること。	—

第4 令和8年度消防学校教育訓練の実施期間

教育訓練種類		期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	摘要
消防職員	初任教育	76	7/11 (金)					25/11 (金)							実日数 115日 (803H) 入校式 4/8、修了式 9/25 予定
	専科教育	9							22/11~30/11 (木) (金)						実日数 7日 (49H)
	危険物科	27							8/11~16/11 (木) (金)						実日数 5日 (35H)
	救助科	26								5/11~31/11 (木) (金)					実日数 20日 (140H)
	救急科	32										20/11 (水)		12/11 (金)	実日数 37日 (259H) (病院実習 (7H) 含む)
	中級幹部科	22										6/11~15/11 (木) (金)			実日数 7日 (49H)
	無線通信科	49			18/11~19/11 (木) (金)										実日数 2日 (12H)
	救急救命士生涯教育講習	40									10/11~16/11 (木) (金)				実日数 5日 (35H)
	兼任救急隊員教育講習	10									16/11~18/11 (木) (金)				実日数 3日 (21H)
	通信指令員技術向上講習	9		21/11~22/11 (木) (金)											実日数 2日 (14H)
	ヘリコプター搭乗職員講習	31											23/11~15/11 (木) (金)		実日数 14日 (95H)
	消防大学校ゼミ	24												19/11 (金)	実日数 1日 (5H)
	災害事例等講習	17												5/11 (金)	実日数 1日 (4H)
	専科教育	38							3/11~4/11 (金) (土)						実日数 2日 (14H)
	幹部教育	12							3/11~1/11 (土) (日)						実日数 2日 (14H)
消防団員	10							17/11~18/11 (土) (日)						実日数 2日 (14H)	
特別教育	15		3/11 (金)											実日数 1日 (5H)	
一般	9		16/11~17/11 (土) (日)											実日数 2日 (12H)	
県民教育等			随	時											女性県政学習バス・子ども消防学校・自主防災組織の研修等

注：803Hは、各消防本部（局）が行う実務研修（35H）を含む。

第5 令和8年度消防学校教育人数・受付期間等

職	教育訓練種類	教育期間	教育人数	入校願書受付期間	入校日時	摘要
消防職員	初任教	8年4月7日(火)～9月25日(金)	48人	8年2月13日(金)～2月27日(金)	8年4月7日7時30分～8時30分	R7 60人
	専科	8年10月22日(木)～10月30日(金)	21人	8年9月7日(月)～9月18日(金)	8年10月22日7時30分～8時30分	R6 21人
	科	8年10月8日(木)～10月15日(木)	23人	8年8月25日(水)～9月8日(火)	8年10月8日7時30分～8時30分	R6 21人
	科	8年11月5日(木)～12月3日(木)	27人	8年9月17日(木)～10月5日(月)	8年11月5日7時30分～8時30分	R6 23人
	科	9年1月20日(木)～3月12日(金)	60人	8年12月1日(火)～12月14日(月)	9年1月20日7時30分～8時30分	R7 49人
	科	9年1月6日(水)～1月15日(金)	24人	8年11月16日(月)～11月27日(金)	9年1月6日7時30分～8時30分	R6 18人
	科	8年6月18日(木)、19日(金)	56人	8年4月30日(木)～5月18日(月)	8年6月18日7時30分～8時30分	R7 63人
	科	8年12月10日(木)～12月16日(水)	27人	8年10月27日(火)～11月10日(火)	8年12月10日7時30分～8時30分	R7 23人
	科	8年12月16日(水)～12月18日(金)	15人	8年11月2日(月)～11月16日(月)	8年12月16日7時30分～8時30分	R7 15人
	科	8年5月21日(木)、22日(金)	14人	8年4月8日(水)～4月21日(火)	8年5月21日7時30分～8時30分	R7 17人
消防団員	ハリコブタ乗員講習	9年2月24日(水)～3月15日(月)	3人	別途通知		R7 3人
	消防大学校ゼミ	9年3月19日(金)	100人	別途通知		R7 146人
	災害事例等講習	9年3月5日(金)	100人	別途通知		R6 32人
	警防科	8年10月3日(土)、4日(日)	30人	別途通知		R7 19人
	初級幹部科	8年10月31日(土)、11月1日(日)	30人	別途通知		R6 13人
	指揮場指揮課程	8年10月17日(土)、18日(日)	30人	別途通知		R6 23人
	女性消防団員専門知識向上セミナー	8年5月31日(日)	30人	別途通知		R7 16人
	トローン操作訓練	8年5月16日(土)、17日(日)	20人	別途通知		R7 17人
	随時					R73,734人
	一般	県民教育等				

(単位：円)

第6 令和8年度消防学校教育訓練入校期間中の必要経費

教育訓練種類	教育実日数	教材費	施設研修費	寮費	合計	適用
消防	第76期	98,850	53,960	215,850	368,660	
専科教育	特殊災害科	10,000	4,630	13,600	28,230	
	危険物科	6,540	3,820	8,460	19,240	
	救助科	32,690	4,480	39,910	77,080	
	救急科	23,460	—	68,000	91,460	ほかに病院実習1日
幹部教育	中級幹部科	7,490	—	13,600	21,090	
	無線通信科	15,660	—	—	15,660	通学
特別教育	救急救命士生涯教育講習	5,000	—	4,050	9,050	通学
	兼任救急隊員教育講習	600	—	2,430	3,030	通学
	通信指令員技術向上講中	400	—	1,620	2,020	通学
	ハリコプター搭乗職員講習	不要				通学
	消防大学校ゼミ	不要				通学
	災害事例等講習	不要				通学
幹部教育	警防科	不要				通学
幹部教育	初級幹部科	不要				通学
	指揮官部科分団指揮課程	不要				通学
特別教育	女性消防団員専門知識向上ゼミナール	不要				通学
	ドローン操作訓練	不要				通学
一般	県民教育	不要				通学

(注) 1 教材費は、教科書代とその他教育資料作成費等の合計額です。

2 教育訓練は、原則として全寮制です。(ただし、無線通信科(初任教育訓練生を除く)、救急救命士生涯教育講習、兼任救急隊員教育講習、通信指令員技術向上講習、ハリコプター搭乗職員研修及び消防団員教育は、通学制とします)

3 教育訓練計画の変更、その他特別の事情がある場合は、入校経費を増減することがあります。

(参考) 入校期間中の必要経費(食費明示版)

(単位：円)

初任教育	教育訓練種類	教育日数	食費	教材費	施設研修費	療養生費	合計	摘要
消防	第76期	115	206,250	98,850	53,960	9,600	368,660	
	特殊災害科	7	13,020	10,000	4,630	580	28,230	
	危険物科	5	8,460	6,540	3,820	420	19,240	
	救助科	20	38,250	32,690	4,480	1,660	77,080	
	救急科	36	65,100	23,460	—	2,900	91,460	ほかに病院実習1日
	中級幹部科	7	13,020	7,490	—	580	21,090	
	無線通信科	2	—	15,600	—	—	15,600	通学
	救急救命士生涯教育講習	5	4,050	5,000	—	—	9,050	通学
	兼任救急隊員教育講習	3	2,430	600	—	—	3,030	通学
	通信指令員技術向上講習	2	1,620	400	—	—	2,020	通学
職員	ハコブター搭乗職員研修	14	—	—	—	—	—	通学
	消防大学校ゼミ	1	—	—	—	—	—	通学
	災害事例等講習	1	—	—	—	—	—	通学
	警防科	2	不要	—	—	—	—	通学
	初級幹部科	2	不要	—	—	—	—	通学
	指揮幹部科分団指揮課程	2	不要	—	—	—	—	通学
	女性消防団員専門知識向上セミナー	1	不要	—	—	—	—	通学
	ドローン操作訓練	2	不要	—	—	—	—	通学
	県民教育等		不要	—	—	—	—	通学
	一般							

食費：朝食610円、昼食810円、夕食860円 計2,280円

第7 入校手続等

- 1 「入校願書」(別記様式第1号)、「履歴書」(別記様式第2号)、所属長の「推薦書」(別記様式第3号)、第8の「携行品及び事前提出物」に掲げる事前提出物(研究討議資料については様式4)及び「食物アレルギー食品チェック表(様式5)」を、第5の入校願書受付期間に消防学校へ提出すること。

なお、初任教育の「履歴書」(別記様式第2号)は、初任教育用の様式を使用し、既取得免許・資格及び病歴等について詳細に記入すること。

- 2 研究討議については、次の2つの方式で行うものとし、いずれの方式で行うかは教育訓練毎に別途指示する。

- (1) 消防学校が設定した課題について入校者から回答を求める方式

消防学校は、入校願書受付期間終了後、速やかに課題及び要旨を記載した研究討議資料(様式4)を本部(局)へ電子データで送る。

入校者は、課題に対する回答を記載した研究討議資料(様式4)を入校時に持参する。

- (2) 本部(局)が提案した課題について他の本部(局)から回答を求める方式

本部(局)は、課題及び要旨を記載した研究討議資料(様式4)を、入校願書受付期間内に電子データにより消防学校へ提出する。なお、提出数は、各本部(局)1件とする。

消防学校は、当該資料を関係本部(局)へ電子データで送る。

入校者は、課題に対する回答を記載した研究討議資料(様式4)を入校時に持参する。

別記様式第1号（第5条関係）

入 校 願 書

年 月 日

石川県消防学校長 様

現 住 所

所 属

階級、氏名

貴学校 ○○○○科へ入校したいので関係書類を添えてお願いします。

別記様式第3号（第5条関係）

推 薦 書

氏 名

○○○○科教育訓練受講生として上記の者を推薦いたします。

年 月 日

所属長

氏 名

履 歴 書

現住所
(ふりがな)

氏 名

生年月日 年 月 日

性 別 男 ・ 女

年 月 日	履 歴
(免許・資格)	
取得年月日	免 許 ・ 資 格 の 種 別 等
(健康状況)	
発病・治療時期	病 歴 等
食物アレルギー	有 ・ なし

- 注 1 性別は、該当の箇所に○を記載すること。
 2 履歴欄は、最終学歴（学部、学科まで記入）から年月順に記載すること。
 3 消防履歴は、任免等を記載すること。
 4 免許・資格等（自動車、救急救命士、危険物取扱者、消防設備士、無線技士 等）を有する場合は、その免許等の種別等について記載すること。
 5 病歴等は、体力錬成時等に注意する事項となるため、詳しく記載すること。
 6 食物アレルギー欄については、該当箇所に○を記載し、「有」の場合は様式5を添付すること。

様式4

研究討議資料

(科)

石川県消防学校

所 属 (消防本部(局)名)		階級・氏名	
件 名	質疑事項・検討事項・情報交換・研究発表・体験発表		
題 名			
要旨			

食物アレルギー食品チェック表

症状が出現した食品等について、確認するためのチェック表です。

×が記載された場合、給食で除去します。なお、その他の項目については、個別食品を記載してください。

記載された食品のみ除去します。

■記入方法

食べて症状が出現したものの「×」、疑わしいかったものの「△」を記入してください。

	除去すべき食物	主な食品例
卵	卵	ゆで卵、卵焼き、オムレツ、かきたま汁
	卵を用いた食品	ケーキ、クッキー、プリン、かまぼこ、ちくわ、ハム、ソーセージ
	卵を用いた料理	フライ、天ぷらのころも、ハンバーグのつなぎ
	調味料	マヨネーズ
	魚卵	たらこ、もみじこ、ししゃも
肉	鶏肉	
	牛肉	
	豚肉	
	スープ、エキス等	
	ゼラチン	
牛乳	牛乳、育児用ミルク	
	牛乳を用いた食品	チーズ、ヨーグルト、生クリーム、バター、ケーキ、プリン、パン類
	牛乳を用いた料理	シチュー、ホワイトソース、グラタン、ポタージュ
落花生	落花生	ピーナッツクリーム、ピーナッツバター、落花生を用いたパンや菓子
	落花生油	カレールウ
小麦	小麦を用いた食品	うどん、そうめん、中華そば、スパゲッティ、マカロニ、パン類、パン粉、小麦粉、麩、餃子の皮などの皮類、ケーキ、クッキー、練り物
	小麦を用いた料理	カレー、シチュー、グラタン
	調味料	コンソメ、ドレッシング、食酢、味噌、醤油 *味噌、醤油に関しては医師による届けを有する。
大豆	大豆	
	大豆を用いた食品	豆乳、豆腐、おから、高野豆腐、納豆、きな粉、うすあげ、あつあげ、がんもどき
	調味料	大豆油、醤油、味噌
その他	そば	
	甲殻類	エビ、カニ（
	魚類	サバ、サケ、かつおだし、シーチキン、練り物（
	軟体類	イカ、タコ
	貝類	あわび、ほたて、あさり（
	ごま	ごま、ごま油
	ナッツ類	くるみ、アーモンド、カシューナッツ（
	果物	オレンジ、キウイ、もも、りんご、バナナ
	山芋	やまいも、ながいも、じねんじょ、はんぺん（

第8 携行品及び事前提出物

○携行品、◎事前提出物

教育訓練種類	研究討議資料	消防関係法規集	制服・制帽・黒短靴・白手袋	消防手帳・共済組合員証	活動服・アポロ帽・黒短靴	救急服・救急帽・黒短靴・聴診器	防火衣一式	保安帽・編上靴・革手袋・ゴーグル	ケプラー手袋	シットハーネス	カラビナ・小綱	ゴム長靴・軍手・雨具	水着・タオル・ビーチサンダル	寝具一式・トレイニングウェア	運動靴・上履き・ハンガー	洗面用具・湯飲み。はし・座布団	検温計・爪切り・ソーイングセット	靴みがき	筆記用具	健康診断書	写真	住民票	認印
初任教育			○	○		○	○	○			○	○				○			○	◎			○
特殊災害科		○	○	○			○	○			○	○				○			○				○
危険物科	※	○	○	○												○			○				○
救助科		○	○	○			○	○	○	○	○	○				○			○				○
救急科			○	○				○								○			○				○
中級幹部科	※	○	○	○			○	○			○					○			○				○
無線通信科																			○		◎	◎	○
救急救命士生涯教育講習						○													○				○
兼任救急隊員教育講習				○															○				○
通信指令員技術向上講習				○															○				○
消防大学校ゼミ																			○				
災害事例等講習																			○				

- 初任教育
- 1 盛夏服は、5月末までに準備すること。
 - 2 健康診断書1通（採用時に提出した診断書のコピー）
 - 3 野外活動用水筒
 - 4 消防関係法規集は、入校後別途購入する。

- 無線通信科
- 1 住民票は6か月以内のもの。
 - 2 写真3枚（撮影3か月以内、縦3cm×横2.4cm、正面上半身の無帽、無背景、枠無しで裏面に所属・氏名を記入。[以上の内容を厳守すること]）
 - 3 初任教育前期については、学校で写真を用意するので、各所属からの提出は不要。

ヘリコプター搭乗職員講習については、別途通知する。

※印の教育訓練については研究討議を行い、方式については別途指示する。

上記以外で別途必要となるものがある場合は事前に連絡する。

第9 令和8年度消防学校教育訓練科目及び時間数

1 消防職員に対する教育訓練

(1) 初任教育(第76期)

令和8年4月7日～9月25日(115日間)

種 目	教 科 目	実 施 項 目	計 画 時間数	基 準 時間数
基礎教育 (51H)	倫 理	消防倫理	3	5
	法学基礎	法制通論、憲法、民法、行政法	6	20
		消 防 法	12	
	消防組織制度	地方自治法、消防組織法	6	9
	服務と勤務	地方公務員法	6	28
		所属先輩との面談	2	
		広報・接遇	2	
		交通事故防止	3	
		人権問題、メンタルヘルス	2	
	理 化 学	化学	4	10
		物理	4	
		その他	1	
	実務教育 (226H)	予防広報	防火・防災管理、消防広報	18
危 険 物			8	8
消防用設備			12	12
査 察			27	27
建 築			10	10
安全管理			16	16
特殊災害と保安		高圧ガス保安	2	10
		液化石油ガス保安	2	
		火薬類保安	2	
		その他	1	
火災防ぎよ			30	30
火災調査			15	15
防 災 (災害対策)		災害対策基本法、石油コンビナート等災害対策	2	23
		防災計画、津波・風水害・震災対策	2	
		災害救助法、自主防災活動等	2	
		原子力災害対策	1	
		緊急消防援助隊	1	
	気象と災害	5		
	水災防ぎよ	8		
	その他	2		

(次ページに続く)

種 目	教 科 目	実 施 項 目	計 画 時間数	基 準 時間数
実務教育 (続き)	救急	救急概論・救急実技	25	50
		応急手当指導員講習Ⅱ	25	
	消防機械ポンプ		10	10
実科教育 (356H)	訓練礼式	通常点検ほか	50	50
	消防活動訓練	消防活動訓練	72	82
		航空消防防災体制	3	
	救助訓練	救助訓練	28	45
		結索訓練	12	
	機器取扱訓練	空気呼吸器訓練等	54	55
	消防活動応用訓練	中高層建物火災、車両火災訓練等	82	85
体育	サーキットトレーニング、持久走、強歩訓練等	55	55	
その他 (158H)	実務研修	各消防本部における実務研修	35	35
	選択研修	危険物乙4、設備士乙6資格取得	12	40
		修了式実技訓練	18	
		操法大会、救助技術訓練大会等	26	
	行事その他	山岳訓練	14	50
		視察研修等	37	
入校式、修了式等		16		
特別教育 (12H)	無線通信科	第二級陸上特殊無線技士資格取得	12	-
合 計			803	800

(R7年度 第75期 115日間 803時間)

(2) 専科教育

ア 特殊災害科 (第9期)

令和8年10月22日～10月30日(10日間)

教 科 目	実 施 項 目	計 画 時間数	基 準 時間数
講話	職責と心構え	-	1
特殊災害の概論	関係法令等	2	2
危険性物質等に係る基礎知識及び 関係法令	危険性物質等の基礎知識	15	15
	関係法令		
特殊災害に対する消防活動要領	危険性物質災害における活動要領	16	16
	特殊な空間・環境における活動要領		
特殊災害における安全管理	危険性物質災害における安全管理	5	5
	特殊な空間・環境における安全管理		
	テロ災害における安全管理		

(次ページに続く)

教 科 目	実 施 項 目	計 画 時間数	基 準 時間数
図上訓練	図上訓練の企画立案	9	7
	図上訓練		
	検証		
効果測定		1	2
行事その他	入校式、修了式等	1	1
合 計		49	49

(R6年度 第8期 7日間 49時間)

イ 危険物科 (第26期)

令和8年 10月8日～10月15日(5日間)

教 科 目	実 施 項 目	計 画 時間数	基 準 時間数
講 話	職責と心構え	—	1
危険物行政の現状と課題	危険物行政の現状と課題	6	2
	消防関係法令の改正内容		
危険物化学	総論・各危険物の概要	4	5
	指定可燃物の貯蔵・取扱い		
	消防活動阻害物質		
危険物規制	危険物施設の規制	18	21
	危険物施設の位置・構造・設備の基準		
	危険物の貯蔵・取扱い・運搬・移送の基準		
	許認可事務		
	少量危険物等の規制		
	違反処理		
事例研究	実務研究課題討議	4	4
効果測定		1	1
行事その他	訓練礼式、入校式、修了式等	2	1
合 計		35	35

(R6年度 第26期 5日間 35時間)

ウ 救助科 (第26期)

令和8年 11月5日～12月3日(20日間)

教 科 目	実 施 項 目	計 画 時間数	基 準 時間数
講 話	職責と心構え	—	1
安全管理	概 要	21	21
	救助活動における安全管理		
	救助訓練における安全管理		

(次ページに続く)

教 科 目	実 施 項 目	計 画 時間数	基 準 時間数
安全管理（続き）	危険予知訓練		
災害救助対策	概 要	23	23
	緊急消防援助隊		
	救助対策と活動事例		
救 急	外傷処置	5	6
	多数傷病者発生時の処置		
救助器具取扱訓練	主要な救助器具の取扱い（都市型ロープ含む。）	21	21
救助訓練	高所からの救助	30	30
	低所からの救助		
	火災時における救助		
	交通事故における救助		
	地震時における救助		
	ロープ・都市型レスキュー		
	その他事故における救助		
	救急救助		
	航空救助		
総合訓練	想定訓練	31	30
健康管理	体力管理	3	3
効果測定	学科考査	1	5
	実技考査	4	
行事その他	入校式、修了式等	1	1
合 計		140	140

(R6年度 第25期 20日間 140時間)

工 救 急 科 (第32期)

令和9年1月20日～3月12日 (36日間)

教 科 目	実 施 項 目	計 画 時間数	基 準 時間数
救急業務及び救急医学の基礎	救急業務の総論及び医学概論	37	50
	解剖・生理		
	社会保障・社会福祉		
	救急実務及び関係法規		
	法医学		
応急処置の総論	観察	62	73
	検査		
	心電図		
	応急処置総論		

(次ページに続く)

教科目	実施項目	計画時間数	基準時間数
応急処置の総論 (続き)	応急処置各論		
	救急医療・災害医療		
病態別応急処置	心肺停止	70	67
	ショック・循環不全		
	意識障害		
	出血		
	一般外傷		
	頭部、頸椎(頸髄)損傷		
	熱傷・電撃傷		
	中毒		
	溺水		
	異物・呼吸障害、主な疾患		
特殊病態別応急処置	小児、新生児	20	25
	高齢者		
	産婦人科、周産期		
	精神障害		
	その他の創傷の処置等		
実習及び行事	実習	50	35
	行事その他	13	
合 計		252	250

(R7年度 第31期 36日間 252時間)

(3) 幹部教育

中級幹部科(第22期)

令和9年1月6日～1月15日(7日間)

教科目	実施項目	計画時間数	基準時間数
講 話	消防倫理	2	2
	職責と心構え		
訓練礼式	点検・礼式	1	1
消防時事	消防行政の現状と課題	4	4
消防財政	国と地方の関係	2	2
	財政の仕組み		
人事業務管理	組織と監督	10	10
	人権		
	民事・民事訴訟法		

(次ページに続く)

教 科 目	実 施 項 目	計 画 時間数	基 準 時間数
人事業務管理 (続き)	情報公開と個人情報保護		
	健康管理指導等		
	惨事ストレス対策等		
安全管理	公務災害	4	4
	安全対策		
現場指揮	災害現場の指揮	8	8
	現場指揮要領		
事例研究	実務研究課題討議	16	15
	グループ討議		
行事その他	入校式、修了式等	2	3
合 計		49	49

(R6年度 第21期 7日間 49時間)

(4) 特別教育

ア 無線通信科 (第49期)

令和8年6月18日～6月19日 (2日間)

教 科 目	実 施 項 目	計 画 時間数	基 準 時間数
法規	電波法	5	/
無線工学	無線電話取扱法	5	
その他	修了試験等	2	
合 計		12	

(R7年度 第48期 2日間 12時間)

イ 救急救命士生涯教育講習 (第40期)

令和8年12月10日～12月16日 (5日間)

教 科 目	実 施 項 目	計 画 時間数	基 準 時間数
実家訓練	静脈路確保研修	2.5	/
	6H6Tシナリオ想定訓練	8	
	救急車同乗実習 (自己所属本部以外で実施)	7	
	産科・周産期シナリオ訓練等 (金沢医科大学クリニカル・シミュレーション・センターにおいて実施)	7	
	多数傷病者対応訓練	4	
座学	救急統計学 (データ活用)	1	
	危機管理体制 (ヒヤリハット事故事例検討)	2	
	救急隊長の責務、リーダーシップ論	3	
	入校式、修了式等	0.5	
合 計		35	

(R7年度 第39期 5日間 35時間)

ウ 兼任救急隊員教育講習（第10期）

令和8年12月16日～12月18日（3日間）

教科目	実施項目	計画時間数	基準時間数
実家訓練	多数傷病者対応訓練	4	
	CPA基礎訓練（胸骨圧迫等）	4	
	シナリオ想定訓練	3.5	
座学	救急隊長の責務、リーダーシップ論	3	
	石川県救急活動プロトコールについて	3	
	接遇・コミュニケーションスキル（情報収集要領）	3	
行事その他	入校式、修了式	0.5	
合 計		21	

（R7年度 第9期 3日間 35時間）

エ 通信指令員技術向上講習（第9期）

令和8年5月21日～5月22日（2日間）

教科目	実施項目	計画時間数	基準時間数
通信指令員の役割	火災・救助などの聴取方法	2.5	
緊急度・重症度の識別	コールトリアージ要領	2	
解剖・生理	心停止に至る病態、その他の口頭指導対象病態、死戦期呼吸	2	
ミニテスト		1	
口頭指導要領	口頭指導プロトコル解説	2	
シミュレーション総合教育	シミュレーション訓練、検討会、総括	3.5	
行事その他	入校式、修了式等	1	
合 計		14	

（R7年度 第8期 2日間 14時間）

オ ヘリコプター搭乗職員講習（第31期）

カ 消防大学校ゼミ（第24期）

キ 災害事例等講習（第17期）

教科目・時間数は別途計画による

2 消防団員に対する教育訓練

(1) 専科教育

警防科 (第 38 期)

令和 8 年 10 月 3 日～10 月 4 日 (2 日間)

教 科 目	実 施 項 目	計 画 時間数	基 準 時間数
講話	職責と心構え	—	1
訓練礼式	訓練礼式訓練	2	—
火災防ぎよ	放水訓練等	3	4
防災	災害対策、現場活動要領	4	2
安全管理	危険予知訓練	2	2
救急	応急手当	2	—
事例研究	実務研究課題討議	—	2
行事その他	入校式、修了式等	1	1
合 計		14	12

(R7 年度 第 37 期 2 日間 14 時間)

(2) 幹部教育

ア 初級幹部科 (第 12 期)

令和 8 年 10 月 31 日～11 月 1 日 (2 日間)

教 科 目	実 施 項 目	計 画 時間数	基 準 時間数
講話	職責と心構え	1	1
訓練礼式	訓練礼式指導要領	2	1
現場指揮	現場指揮要領、火災想定訓練、放水訓練	3	3
防災	災害対策、現場活動要領	2	2
防災指導要領	住民指導	2	2
安全管理	危険予知	3	2
行事その他	入校式、修了式等	1	1
合 計		14	12

(R6 年度 第 11 期 2 日間 10 時間)

イ指揮幹部科現場指揮課程（第10期）

令和8年10月17日～10月18日（2日間）

教科目	実施項目	計画時間数	基準時間数
講話・現場指揮・安全管理	現場指揮者としての職責と心構え	2	1
	現場指揮要領、危険予知		
火災防ぎょ訓練	大規模地震発生時における指揮要領、延焼拡大防止措置	3	2
水災活動訓練	風水害時の救助活動、指揮要領	—	2
救助・救命訓練	倒壊家屋等からの救助救命と指揮要領	3	4
避難誘導訓練	大規模地震発生に伴う津波災害時等の避難誘導・避難広報	2	2
災害情報収集・伝達訓練	他機関と連携した搜索活動、情報収集・伝達等の情報共有	1	1
	検索救助活動における活動標示の活用		
地域防災指導訓練	初期消火、応急手当及び簡易な救助の指導方法	2	1
行事その他	入校式、修了式等	1	1
合 計		14	14

（R6年度 第9期 2日間 10時間）

(3) 特別教育

ア ドローン操作訓練（第9期）

イ 女性消防団員専門知識向上セミナー（第15期）

別途計画による。

3 一般県民に対する教育訓練

別途計画による。

(参 考)

1 令和7年度 消防学校教育訓練実績

教育訓練種類		教 育 期 間	教育日数・時間		修了者数 計(教育人数)	聴講者数 (延べ)	
			実日数	時間数			
消 防 員	初任教育	第 75 期	7年4月8日(火)～9月24日(水)	115	803	名 60 (60)	名 —
	専科教育	警 防 科	7年10月15日(月)～10月28日(火)	10	70	23 (27)	29
		予 防 査 察 科	8年1月9日(水)～1月23日(水)	10	70	23 (24)	
		火 災 調 査 科	7年11月25日(水)～12月8日(水)	10	70	26 (22)	
		救 急 科	8年1月26日(火)～3月18日(木)	37	259	49 (53)	—
	幹部教育	初 級 幹 部 科	7年11月4日(火)～11月17日(木)	10	70	20 (22)	—
	特 別 教 育	無 線 通 信 科	7年6月19日(木)、20日(金)	2	12	65 (60)	—
		救急救命士生涯教育講習	7年12月11日(木)～12月17日(水)	5	35	23 (25)	—
		兼任救急隊員教育講習	7年12月17日(水)～12月19日(金)	3	21	15 (15)	—
		通信指令員技術向上講習	7年5月15日(水)、16日(木)	2	14	17 (14)	—
水 難 救 助 科		7年9月29日(月)～10月10日(月)	10	70	15 (16)	—	
ヘリコプター登場職員講習		8年2月24日(火)～3月13日(金)	14	95	3 (3)	—	
消 防 大 学 校 ゼ ミ		8年3月6日(金)	1	3	20 (100)	126	
消 防 団 員	専科教育	警 防 科	7年11月1日(土)、2日(日)	2	14	19 (30)	—
	幹部教育	指揮幹部科分団指揮課程	7年11月15日(土)、16日(日)	2	10	19 (30)	—
	特別教育	女性消防団員専門 知識向上セミナー	7年5月25日(日)	1	5	16 (30)	—
		ドローン操作訓練	7年5月18日(日)	1	6	17 (20)	1
一般	県 民 教 育 等	随 時	—	—	3,734	—	

注：初任教育第75期の803時間には、期間外に各消防本部(局)が行った実務研修(35時間)を含む。

2 消防学校の施設等の概要

(1) 敷地面積及び建物の構造、面積

(単位: m²)

敷地面積		33,192.69			
建物の名称	構造	規模	建築面積	延面積	適用
管理棟	鉄筋コンクリート	2階建	1,211.95	2,050.35	
寄宿舍棟	鉄筋コンクリート	2階建	538.34	1,058.99	
屋内訓練場	鉄骨造	3階建	1,299.20	1,900.39	
訓練棟	鉄筋コンクリート	地下1階付 8階建	128.19	388.69	高さ 28.6m
補助訓練棟	鉄骨造	平屋建	36.00	36.00	高さ 17m
車庫	鉄骨造	平屋建	345.01	345.01	
防災資機材倉庫	鉄骨造	平屋建	30.66	30.66	
合 計			3,589.35	5,810.09	

(2) 管理棟・寄宿舍棟の使用区分別面積

(単位: m²)

設置の状況		単 独					
使用区分	延面積	使用区分の内訳					
		室名	室数	面積	室名	室数	面積
管理棟	2,050.35	校長室	1	28.80	普通教室	1	91.48
		職員室	1	90.09	視聴覚教室	1	116.77
		印刷室	1	15.04	救急実技室	1	102.45
		宿直室	1	17.18	講堂	1	237.83
		会議室	1	59.76	リネン室	1	20.28
		講師控室	1	32.80	便所	2	49.73
		展示ホール	1	252.26	廊下その他		607.18
		ボイラー室	1	18.09			
		機械室	1	82.45			
		電気室	1	41.56			
		食堂	1	116.62			
		厨房	1	69.98			
寄宿舍棟	1,058.99	寮室	17	448.08	倉庫	2	46.23
		宿直室	1	30.95	洗面所・便所	2	103.19
		浴室	1	56.30	廊下その他		315.29
		娯楽室	1	58.95			

(3) その他の施設

種 別	規 模	施 設 数	適 用
屋外訓練場	5,300 m ²	1	アスファルト舗装
グラウンド	9,500 m ²	1	
ヘリポート	625 m ²	1	25m×25m

令和8年度消防学校教育訓練計画

令和8年4月発行

石川県消防学校

〒920-0209 金沢市東蚊爪町2丁目5番

電話 (076) 237-1800

FAX (076) 237-1812

E-mail fire-sh@pref.ishikawa.lg.jp